



けんびょういん

No.34

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院
平成28年8月29日発行 第34号

■発行責任者／原田 明生

■編集／地方独立行政法人岐阜県立多治見病院広報委員会

岐阜県立多治見病院
公式ホームページ
<http://www.tajimi-hospital.jp>



f 岐阜県立多治見病院
公式フェイスブック
<https://www.facebook.com/tajimihospital>



『自分に合った薬と 上手に付き合うために』

薬剤部部長 堀内 正



症状コントロールのために医師から処方された薬を飲んでいる方は、専門家である医師や薬剤師などから説明を受け、定期的な検査もさされているので概ね問題はないと思

います。薬で症状が改善するということは、「体に大きな影響を与えている」ということです。その人（症状）に適切な薬を適切な量で適切な方法で使用して初めて良い結果が得られます。薬の選択や使用量あるいは使用方法のいずれかが間違っていても、症状が改善しないばかりか、副作用が発現する（悪化することにつながります）。

自己判断で市販薬や民間薬・サプリメントなどを摂られている方は自分で選んだ市販薬を定期的に飲まれている方もあると思います。また、健康のためにビタミン剤やサプリメントなどを摂られている方はありませんか。現在飲んでいる薬はなぜ飲まれている（飲まなければいけない）のでしょうか。自分に合った薬を使用していますか。その薬は本当に必要ですか。

病院に通院して、病気の治療や

普段から定期的に何か薬を飲まれていますか。現在、病院に通院している毎日定まった薬を飲まれている方やドッグストアなどで自分で選んだ市販薬を定期的に飲まれている方もあると思います。また、健康のためにビタミン剤やサプリメントなどを摂られている方はいませんか。現在飲んでいる薬はなぜ飲まれている（飲まなければいけない）のでしょうか。自分に合った薬を使用していますか。その薬は本当に必要ですか。

薬の重複や飲み合わせの確認はできていますか。2つ以上の病院あるいは歯科医院に受診されている方は、いずれの医師にも処方されている薬の内容を伝えていますか。鎮痛剤や胃薬、風邪薬あるいは睡眠薬などの屯用で使用するよ

うな薬もできる限り一箇所の医療機関で処方してもらうようにして下さい。病院でも歯科医院でも薬局でもお薬手帳を必ず提示して飲み合わせなどの確認をしてもらつて下さい。余分な薬や薬の飲み過ぎは百害あって一利なしです。飲む薬の種類が増えれば増えるほど副作用の発現する危険性が高まることがあります。「薬はできるだけ飲みたくない」と言わながらも、民間薬やサプリメントを摂られる方も同様に悪影響に繋がる可能性がありますが、もし薬と同じくらい



効果が期待できるのであれば、薬と一緒にくらい副作用が発現する危険性もあると考えられます。近年はインターネットなどにより、薬の高額医薬品の影響もあつて国

中の、飲み忘れや重複処方などによる残薬分の金額が3,000億円になるとも推計されています。毎日一定して服用する処方薬は、災害時などの非常事態に備えて、10～14日分くらいは余分に手元にあるほうが望ましい（服薬日付が厳密に管理されている薬は除く）と考えられます。が、1カ月以上も残薬がある場合は処方医あるいは薬剤師に残薬分の日数調整を相談して下さい。

病気の治療や症状コントロールを良好に維持するために、自分に最適な薬やサプリメントを最適な量や方法で使用できるように、日常的に気軽に専門家に相談するよう心掛けて下さい。

脳神経外科便り

「緊急時の脳神経外科！」

治療科などがチームとして診療に当たることになります。



「腎不全が進行したら
トウセキするの？」

腹膜透析はご自身で、ご自宅でお腹の中にある腹膜の性質を利用して行う透析であり血液を

当院の脳神経外科は常勤医として5人が勤務しております。

言われても、一般の方にはあまり馴染みがないかと思われます。ここではどういったご病気の方を診療しているのかご紹介させます。

凶出血

脳の血管が破れてしまうことで、出血の部位により脳内出血やくも膜下出血などがあります。誰にでもある日突然起り得る恐ろしい病気です。麻痺や頭痛など様々な症状を起こします。場合によつては救命のために緊急手術が必要なことがあります。

・頭部・頸部の血管病変

交通事故などの重症な方の緊急手術はもちろん、頭皮を怪我された縫合処置が必要な方まで、頭部を怪我された方は脳神経外科にて診療しております。重症な方の全身外傷の場合は、外科や整形外科、放射線科などで連携して治療を行います。

• 腦腫瘍

脳腫瘍にも比較的ゆづくりと大きくなる良性腫瘍、早く大きくなってしまう悪性腫瘍などがあり、様々な治療方針があります。脳神経外科では手術治療を含めて、脳腫瘍全般を診療しています。他の部位のがんが、脳内に腫瘍を作つてしまふ転移性脳腫瘍も脳神経外科で診療します。

そして意外に感じられる方も多いと思いますが、進行した腎不全の治療方法って実は、**血液透析**・**腹膜透析**・**腎移植**の3種類

そして意外に感じられる方も多いと思いますが、進行した腎不全の治療方法つて実は、**血液透析**・**腹膜透析**・**腎移植**の3種類あるのを知っていますか？

透析・腹膜透析・腎移植の3種類あるのを知っていますか？

透析・腹膜透析・腎移植の種類あるのを知っていますか？

血液透析はみなさんのイメージ通り、血液を引いて浄化して体にお返しする治療です。1回で4時間ほど、週3回必要とし

ます



腎臓内科便り

ど胃機能が悪化することはあります。
C ree（クレアチニン）
3・0を超えてきたら一度主治医としつかり相談して、治療方針を立てていきましょう。トウセキの方は決して1つではないのですから。

血管撮影装置のご紹介

■ 装置の概要

平成28年4月より、中央放射線部に新たな検査室、12番血管撮影室が誕生しました。この部屋に導入されたのが、シーメンス社製の最新型の血管撮影装置、AXIOM Artis-Zee BA Twinです。

この血管撮影装置はFPD(フラット・パネル・ディテクター)という、X線情報を電気情報に変えて画像出力する方式で、ノイズの少ない鮮明な画像を表示することができます。高画質な画像を得ようとすると被ばく線量は多くなってしまいがちですが、様々な被ばく低減機構を組み合わせて効果的に低線量化するシーメンス社独自の被ばく低減プログラム「CAR-E」と、FPDのための高画質を実現する多彩なアプリケーションによる画像処理エンジン「CLEAR」の2つを融合させることで、背反の関係にある低被ばくと画質が高いレベルで両立しています。



手技者が見るモニターは

インチの大画面で、透視画面

の他に、撮影した画像や心電

波形、血管内超音波画像

(IVUS)などを一枚のモニ

ター画面に分割して表示する

ことができます。分割の大

さや表示させる画面は、検査

内容によって変更することも

できます。

さらに、CTライクイメージングという機能も備わっています。生理食塩水で希釈した造影剤を注入しながら管球を回転させて撮影すると、CT撮影を行ったような画像が得られる機能で、目的部位の空間的位置把握に力を発揮します。

■ 各診療科の治療内容

脳神経外科

脳神経外科領域においては、脳動脈瘤や脳動静脈奇形などに対し近年血管内治療が広く行われるようになってきています。

当院に導入された最新式の血管撮影装置はその

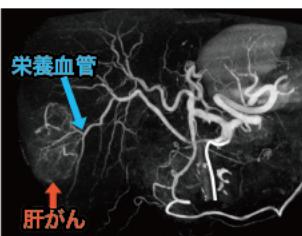
画像の精緻さや多くの画像情報をモニター表示できる点などから、より治療の確実性に貢献しています。



実際の撮影画像(赤丸で囲った部位が脳動静脈奇形)

消化器内科

消化器内科では普段、肝がんに対する肝動脈化学塞栓療法(TACE)で血管撮影装置を使用しています。今回導入された撮影装置では3Dの血管撮影ができるようになつたことにより、癌を栄養する血管を同定しやすくなり、カテーテルも進めやすくなりました。それにより、手術時間を短縮でき、放射線被ばくの低減も得られています。

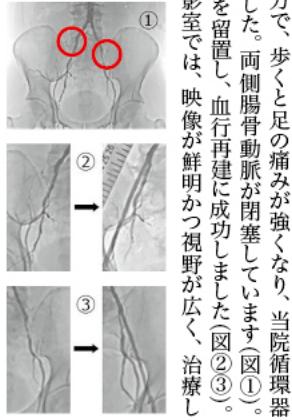


血管外科

血管外科が血管撮影室を使用して現在行っている治療として、腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療があげられます。新撮影室の高機能を生かし今まで全身手術で行っていたことをブロック・局所麻酔下で開腹せず行っております。

循環器内科

心臓・冠動脈検査・治療は8番撮影室で行います(けんびょういん30号参照ください)が、新しい12番血管造影室を循環器内科も使用します。主に、下肢動脈検査・治療を行います(けんびょういん31号参照ください)。



また、本装置は同時に2方向からの透視・撮影を行うことができます。1方向のみに比べて検査効率が上がり、検査時間の短縮化や造影剤量・被ばく線量の低減が図れます。

認定看護師便り

訪問看護認定看護師

藤吉由美子

病気や入院という予測もしない出来事は、治療の経過や入院生活、経済的負担、今後の療養場所などの不安を大きくさせます。当院ではこのような患者さんや家族の方を対象に医療相談員、退院調整看護師が退院後の生活をスムーズに開始していくよう退院支援に取り組んでいます。訪問看護認定看護師の私もこれまでの経験や知識を活かし、退院調整看護師として主に自宅への退院を希望される方への支援を行っています。



たりといった助言あるいは指導をしています。さらに地域の医療・介護・福祉事業者とも連携をとり、安心して自宅の生活に戻つていただけるよう支援体制を整えています。

患者さん自身の持つている力に目を向け、患者さんが望む生活に近づけるよう一緒に考えます。退院後、そしてその後の生活を考え、患者さん自身の意思を大切にしたいと思っています。自宅での生活がイメージできず、療養先を迷う場合や在宅サービス・訪問看護について知りたいことがあれば、どうぞ声をかけて下さい。

皆さんは、リハビリテーション専従医を知っていますか。急性期病院におけるリハ科専門医の役割は、疾患の急性期に対する早期リハを安全かつ確実にできるシステムの構築や、適切な機能評価と予後予測に基づいた適切なゴール設定および退院調整など多岐にわたります。

全体の歩調を合わせてリハビリが行えるように指示を出し、患者さんの能力を最大限に引き出していくという、リハチームの中心としての役割があります。今後も地域連携など、リハ医の業務は増加していくことが予想されます。リハ医一人で非常に多忙ですが、リハビリ科スタッフで協力し業務を補助し、リハビリテーション科をレベルアップしていくきたいと思います。今後ともリハビリテーション科をよろしくお願ひします。

勢33名になり多くの急性期入院患者に対応しています。対応する疾患也非常に多岐にわたつており、ICUの超早期からのリハビリテーションにも対応し、早期離床などを医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士、栄養士など多職種のチームにより対応しています。カンファレンスなどを通じ部門間でリハビリテーションチームの連携をとつていますが、主治医との連携など不分面もあります。その点でリハビリスタッフ間と主治医とのパイプ役として重要な役割を担当してもらっています。リハ医には、各職種の技術を生かしながら、



リハビリテーション科便り

内分泌内科便り

糖尿病、高血圧、脂質異常症、骨粗鬆症などの患者さんの数は高齢化に伴い2,000万人を超え、その増加は社会的問題になっています。私たちはこれらの状況に応えるために質の高い診療を目指して日々研鑽を積んでいます。

糖尿病

1型、2型糖尿病、ステロイド糖尿病、内分泌疾患による糖尿病など様々なタイプの糖尿病の診断・治療を行っています。特に、患者さんへの教育においては1～2週間の教育入院プログラムを取り入れ、コメディカル・スタッフと定期的に症例検討会を行つて密な連携をとりながら、患者さん一人一人に即した生活指導を実践しています。また、外来での糖尿病治療にも力を入れています。糖尿病による透析導入を防ぐための透析予防外来や、糖尿病性足壊疽防止のためのフットケア外来、毎月テーマを変えて糖尿病教室を開催しており、着実に成果を上げています。3～7日間の血糖値を5秒ごとに測定し、日中・夜間の血糖変化を詳細に把握可能な

持続血糖モニタリング(CGM)を導入しており、CGMを外来通院で行うシステムも整備しています。

内分泌疾患

内分泌領域では、甲状腺疾患や原発性アルドステロン症はありふれた疾患でありながら見落とされていることも多く、患者さんの生活の質が低下する原因となっています。下垂体、副腎、副甲状腺疾患といった専門性の高い領域についても潜在的にたくさんのがんが存在します。



豆知識

オタマジャクシガカエルに変身するのに甲状腺ホルモンが必要

臨床研修医の紹介



2年目



1年目

当院は、厚生労働省の審査を受け指定を受けた臨床研修病院として、大学卒後に医師免許を取得した医師・歯科医師（研修医）が基本的な手技、知識を身につけるため、2年間の臨床研修の受け入れを行っています。

研修中は、いたずらに医療技術を取得することのみに目を奪われることなく、「患者さんの立場に立つて」医療に当たる能

力を身につける事も重要な目標とし、日々切磋琢磨しながら研修しています。また、当院では、初期研修修了後、専攻診療科の認定医・専門医の資格を得ることを想定した3年目以降の後期臨床研修も行っています。

平成28年度は、医科21名、歯科2名の初期臨床研修医がいます。よろしくお願いします。

熊本地震被災地での災害医療救護班の活動報告

平成28年4月14日・16日に発生した熊本地震において、当院から被災地に派遣された災害医療救護班の活動について報告

り添つた活動ができたのではな
いかと考えます。

から被災地に派遣された災害医療救護班の活動について報告します。

診療2人
指導3人
診療1人
調査数十人

·健康調查4組
·巡回診療3人

1 活動

平成2年4月2日(月)

② チーム編成

・看護師
・事務
・薬剤師
・看護師
森田 伊藤 治明
岩永 日江井 理
岩島 大明 真吾
和革

3 活動概略

丁表參照

4 振り返り

「見陽の人の思ひ、一二存り添う所

ができるよう、ベ

「ことになりました。医療として

⑤ 今後への提言

「現場の人の思いに添う活動ができるよう、ベストを尽くす」とありました。医療として群衆防護のための説明と弹性スケジューリングで、感染予防

調整を支援することができました。同行したときには、避難者の笑顔を見ることができ、被災者の思いにも寄り添うことはできただのではないかと考えます。

現地の医療者や行政職員、避難者がその時求めているものを把握して、自分たちにできるところを、医療という範疇を越えて活動したことで、少しは現地の人々の心の支えになつたと思われます。

活動内容

- ・引き継ぎ・活動開始・打ち合わせ
- ① 「医務室診療・巡回診療」
- ② 「町内避難所の巡回診療」
- ③ 「集団避難等意向調査」
- ④ 「避難者のニーズ調査」
- ⑤ 「リフレッシュ避難の説明・提案」
- ⑥ 「第1回リフレッシュ避難の同行支援」「下田温泉長期避難者の健康調査」
- ⑦ (前日より継続) 引き継ぎ・活動終了・移

ツキング配布、感

その手・環境消毒薬の配布指

| 日 時 | 活動場所 | 活動内容 | 医療活動 | |
|-------------|-------------------|--|-------------------------|-------------------|
| 4月25日(月) | 多治見→大津町 | 移動・引き継ぎ・活動開始・打ち合わせ | | |
| 4月26日(火) | 大津町総合体育館 | 活動① 「医務室診療・巡回診療」 | 医務室診療1人 健康調査11人 | 巡回診療2人 弾スト指導3人 |
| 4月27日(水) 午前 | 菊陽町 町内避難所 | 活動② 「町内避難所の巡回診療」 | 環境調査 | 巡回診療1人 |
| 4月27日(水) 午後 | 益城町 体育館など | 活動③ 「集団避難等意向調査」 | 巡回診療1人 | 健康調査数十人 |
| 4月28日(木) 午前 | 益城町 体育館など | 活動④ 「避難者のニーズ調査」 | 健康調査15人 | |
| 4月28日(木) 午後 | 益城町 体育館など | 活動⑤ 「リフレッシュ避難の説明・提案」 | | |
| 4月29日(金) | 益城町→(避難同行)→天草下田温泉 | 活動⑥ 「第1回リフレッシュ避難の同行支援」 「下田温泉長期避難者の健康調査」 | 出発前検診2人 長期避難者の健康調査4組 | ・巡回診療3人 |
| 4月30日(土) | 天草下田温泉→益城町→福岡 | 活動⑥(前日より継続) 引き継ぎ・活動終了・移動 | | |
| 5月1日(日) | 福岡→多治見 | 移動 | | |

活動概略

熊本地震被災地での D.P.A.T活動

精神科部長
高田知一

住宅全壊が1026棟、半壊一部損壊が4374棟に上っています。しかも、大きな余震が続いたため、多くの人が長期に渡って避難所生活を強いられました。

私たちの活動は、益城町保健福祉センターを本部として、宮城県D.P.A.T、全国から集まつた保健師や日赤医療チームと連携をとりつつ、被災者の生活を整



神面から支えていくものでした。益城町には19の避難所があり、私たちは9ヶ所を担当しました。毎日の巡回では、避難者の方々のお話を聞きつつ、必要な方には診察を行いました。その結果でお薬を処方したり、紹介状をお渡しした方もいましたし、引き続きD.P.A.Tでフォローしていくことにした方もいました。センターで行われる朝夕のミーティングでは、そういった情報を地元の保健師チームで共有を含めた支援チームで共有し、継続した支援に役立ました。

した。
今回の支援活動を振り返り、岐阜県が被災する可能性も念頭に置きながら、日頃からD.P.A.Tの活動準備をしておくことの重要性を痛感しています。